

初春の梅林を訪ねる 須磨浦山上遊園～須磨離宮公園 梅見ハイク

2021年 2月23日

<参加メンバー> 4人(男性3人、女性1人)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

山陽電鉄須磨浦公園駅 10:40 発 — 旗振山 11:08
— 須磨浦山上遊園梅林 11:19 — 須磨浦山上遊園
11:35 (ランチタイム) 11:55 — 旗振山 12:03 — 鉄拐
山 12:17 — 高倉台団地 12:43 — 柵尾山 13:21
— 横尾山 13:39 — 須磨アルプス核心部 13:53 —
谷川の道との出会 14:56 — 須磨利休公園 15:20

<山行の概要>

この時期旬の梅見ハイクとして実施した。六甲全山縦走路のスタート地点の山上にある梅林を愛でて、縦走路を進み須磨アルプスから梅林のある須磨離宮公園へと歩く、梅見「はしごハイク」を行った。須磨浦は山上だけに花はちょっと早かったが、離宮公園では見頃の梅を楽しめた。須磨アルプスから離宮公園にいたるルートは数本あるが、急坂で厳しかった。須磨アルプス核心部の最低鞍部から下る予定にしていたが、このルートは通行禁止の表示とロープが張られていたため、引き返して横尾山の尾根ルートから下山した。



1. 須磨浦公園駅から旗振山めざしてゆっくりと登る



2. ヤマモモやウベメガシの多い樹林の中を進む



3. 旗振山の茶店前の広場で休憩。淡路島がよく見える



4. 低山とはいえ、山の上にあるため梅は4.5分咲きといったところだった



5. 紅梅が美しかった



6. 山上遊園の四阿でランチタイム



7. 旗振山の茶店に戻り、重曹路を東へと進む



8. 六甲全山縦走大会の時はトラバースして立ち寄らないが、鉄拐山へやって来た



9. 高倉台団地へと向かう



10. 魔の長い階段を過ぎ栲尾山に到着



11. 三角点のある横尾山を経て、須磨アルプスへと向かう



12. 花崗岩の風化した核心部が見えてきた



13. 須磨アルプス核心部



14. 予定のルートが閉鎖されていたため、横尾山から伸びる尾根を下っていった



15. 町中に出て暫く車道歩きの後、須磨離宮公園に到着



16. 離宮公園の梅は満開で見頃であった



17. 花を愛でる乙女？ 写真を撮るオッサン



18. 黄色い菜の花(ハナナ)も美しかった

